

2017年04月21日

【新規格付】

インテージホールディングス

発行体格付： BBB+ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

インテージグループの持株会社。マーケティング支援（消費財・サービス、ヘルスケア）を営む中核のインテージ、アンテリオ、アスクレップ、ビジネスインテリジェンス（BI）を手掛けるインテージテクノスフィアなど傘下の事業会社に対する支配力は強く、格付はグループの信用力を反映している。

市場調査業界の国内最大手で、2割強のシェアを有する。特にパネル調査（対象者を長期固定して、継続的に行う調査）において、小売店・消費者を対象に豊富な実績を有する。日用雑貨品、食品、飲料、医薬品など国内の有力な消費財メーカーのほとんどを顧客としている。パネルデータは業界のデファクトスタンダード（事実上の標準）となっており、顧客企業が市場動向、競合関係を把握する上で不可欠な役割を果たしている。安定的な取引を継続しており、収益性も高い。一方、カスタムリサーチは依頼によるオーダーメイド的な要素が強い。パネル調査の顧客基盤を活用できるものの、価格競争が厳しく、収益性に改善の余地がある。連結全体では、パネル調査やBIのメンテナンス分野などを支えとして安定的に利益を稼ぎ出す力がある。

実質無借金経営で自己資本比率は60%を超えるなど、資本負債構成は良好だ。今後、M&A（合併・買収）やファンドを活用することで、AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）、ビッグデータをキーワードに新規事業を育成する方針だ。市場成長が期待できるものの、他業界からの参入も増えよう。収益基盤の強化を進められるか、進捗を見守る。EBITDA（利子・税金支払い前、償却前利益）は50億円台と投資余力の厚みに欠ける面はあるが、想定している投資規模などを踏まえると財務基盤が損なわれる可能性は低い。これらの点から発行体格付をBBB+、格付の方向性は安定的とした。

【格付対象】

発行者： インテージホールディングス（証券コード：4326）

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	BBB+（新規）	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	廣岡 一雄
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	細田 弘

信用格付を付与した日	2017年04月18日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2015.05.01] 持株会社の格付の考え方 [2013.11.08]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html>

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/index.html>

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html>

格付関係者	インテージホールディングス
-------	---------------

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報	決算書類、開示情報
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。
情報提供者	格付関係者

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧ください。